

令和7年8月竜王町定例教育委員会会議録

開催日時 令和7年8月22日（金）
開催場所 竜王町総合庁舎2階205会議室
出席者 教 育 長 甲 津 和 寿
委 員 谷 康 夫
委 員 川 部 由紀子
委 員 櫻 井 絵里子
事 務 局 森岡教育次長、沖教育総務課長、山中学校教育課長、
山中生涯学習課長、奥教育総務課長補佐兼教育総務係長

開会時刻 午前 9時30分

閉会時刻 午前11時21分

会議日程 以下のとおり

- 日程第 1 議第8号 令和8年度使用竜王町立小中学校特別支援学級教科用図書の採択について
日程第 2 議第9号 令和7年度竜王町教育委員会の権限に属する事務の管理および執行状況の
点検および評価について
日程第 3 その他 1) 令和7年第3回(9月)議会定例会 教育委員会補正予算について
2) 乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）について
3) 連絡事項

議事要旨 以下のとおり

【会議の内容】

沖教育総務課長

定刻となりましたので、ただいまから8月の定例教育委員会を開催いたします。
本日は、中島委員さんをご欠席と伺っておりますのでよろしくお願いします。

会議に先立ちまして、町民憲章の唱和を行いますのでご起立をよろしくお願いいたします。
ます。

(町民憲章唱和)

ありがとうございました。ご着席ください。それでは、開会にあたり甲津教育長より
ご挨拶を賜りたいと思います。よろしくお願いいたします。

甲津教育長

みなさん、おはようございます。

8月下旬のこの時期になっても連日暑く、委員のみなさんは、お変わりございません
でしょうか。あと10日ほどで2学期が始まりますので、少しでもしのぎやすくな
るよう願っています。特に子どもたちの登校下校時が、少しでも気温が下がればよい
と思っています。

さて、8月の今日までを振り返りますと1日には、第2回目の竜王町教育委員会事

務評価委員会を開催し、4名の評価委員のみなさんに2次評価をまとめていただきました。

これを踏まえまして、今年度の下半期、また、来年度に重点的に取り組む事項、反省点を整理しました。

後ほど詳しい説明があろうかと思しますので、お聞きいただければと思います。

8月2日には、第2回目のモルック大会が竜王町総合運動公園で開催されました。大変暑い中ではありましたが、子どもや大人の参加もあり盛り上がった大会となりました。

6日の19時からと10日の10時から、また同日の14時から、総合運動公園内の地域産業研修センター会議室でまちづくり住民懇談会を開催し、第六次総合計画の前半の5年間の振り返りやその中核をなすコンパクトシティ化構想の進捗状況をお伝えするとともに今後の事業計画、さらには次の5年で積極的に取り組むべきことなどについて、説明し、意見交換しました。

参加いただいた教育委員さんは、出席ありがとうございました。

教育委員会関係では、竜王西小学校の今後、給食センターのあり方等について意見をいただき、町の考え方や方向性を私の方からお話させていただきました。

特に、西小学校については、西小プライド、西小愛を高めようと学校、PTA、コミュニティスクール等の皆さんが熱心に一生懸命取り組んでくださっていることをお伝えするとともに、西小は西学区のコミュニティや防災の拠点であることから、これからもしっかりと存続させていかななくてはならないと考えていることなどをお話しました。

また、給食センターについても、竜王ならではの給食、竜王だからこそできる給食をこれからも提供していくためには、町として新しい給食センターを建てていく必要があることなどについても話させていただきました。

また、昨日今日と妹背の里では、竜王町内の小学生を対象にした輝竜キャンプが1泊2日で開催されています。

最近、学校ではなかなか実施できない事業ですので、企画してくれている地域振興事業団の職員さんには感謝しているところです。

明日は、第14回目になります竜王町英語スピーチ大会を公民館で開催します。

今回は16名の小中学生が参加してくれます。

今回初めて、Show and tellという部門を設けましたので、子どもたちがどんな発表してくれるか今から楽しみにしているところです。

24日曜日には、午後2時から図書館で開館25周年記念の人形劇が開催されます。

また、25日の月曜日は朝6時集合で夏期巡回ラジオ体操をドラゴンハットで開催します。

この様子は、NHKラジオ第1放送で全国に生放送されます。

1人でも多くの方がご参加いただけたらと願っているところです。

委員の皆さん方の中で、それぞれの事業にご都合が付くようでしたら、ご出席、また、お立ち寄りいただければと思います。よろしくお願いします。

それでは本日の会議、最後までよろしくお願いいたします。

沖教育総務課長

早速、提案事項を進めたいと思いますので教育長で進行をよろしくお願いいたします。

甲津教育長

本日は、傍聴席を設けておりますが傍聴はありません。

日程第1 議第8号 令和8年度使用竜王町立小中学校特別支援学級教科用図書の採択について事務局から説明をお願いします。

山中学校教育課長

(説明)

甲津教育長

ただいま、事務局からの説明が終わりましたので、委員の皆さんから何かご質問はございませんでしょうか。

知的の支援学級の子どもたちが、検定教科書では、学びが深まらないということで、こういった教科書を子どもさんに合わせて選べるということでございます。

これを使うというわけではなく、これを使うことができるということで、採択するということです。

櫻井委員

これを使うことができるということですが、希望があれば配布するというものなのでしょうか。

山中学校教育課長

保護者と相談しながら、学校と子どものことを考えて使うことになります。

甲津教育長

こちらから、この教科書を指定するわけではなく保護者と相談する中で、通常の教科書で理解が進みにくい場合、このような教科書を使うと理解が進みやすいのではないかとといった学校からの提案をしながら、同意を得て使用することになります。

図工、音楽、家庭は、検定教科書を使うことが多いですが、数学や国語、理科、英語は、段階に応じて学んだ方が確実に力になりますので勧めることもあります。

他には、よろしいでしょうか。

議第8号 令和8年度使用竜王町立小中学校特別支援学級教科用図書の採択について 採択することに異議はありませんか。

教育委員

(異議なし)

甲津教育長

全員賛成ということで、可決とさせていただきます。

山中学校教育課長

お手元の資料につきましては、9月1日以降には公開になりますが、取扱注意にさせていただきますようお願いいたします。P4～P6は、9月1日以降ホームページで公開する予定です。

本日、近江八幡市、日野町、東近江市で定例教育委員会が開かれています。

2市2町で合意されたら、採択いただきました図書を使うということになります。すべての市町で承認いただければ、ホームページで公開することとなります。

甲津教育長

つづきまして、日程第2 議第9号 令和7年度竜王町教育委員会の権限に属する事務の管理および執行状況の点検および評価について事務局から説明をお願いします。

森岡教育次長

(説明)

甲 津 教 育 長

ただいま、事務局からの説明が終わりましたので、委員の皆さんから何かご質問はございませんでしょうか。

この件につきましては、委員の皆さんにも都度お伝えしてきました。一次評価については、加筆修正、あるいは言っていたことを反映して前月の定例教育委員会で確認いただいております。

先程、挨拶でも申し上げましたように8月1日に2回目の評価委員会を開催させていただき2次評価をいただきました。今年度後半、令和8年度にしっかり取り組んでいくこととして5項目を挙げてしっかり取り組んでいこうと考えています。

令和2年度から令和6年度までの5年間を振り返りながら、整理をして次の5年に向けて竜王町教育委員会として、取り組んでいくことを10項目に整理をしてまとめています。

評価委員の方からは、適切なご意見をいただいています。そのご意見を活かしながら、取り組んでいきたいと思います。また、委員は、町外の方であるため他市町との比較をいただき意見をいただきました。意見は、刺激や励みにもなりました。

谷 委 員

当初の評価と比較して、A評価に二項目上がっていますが、A評価からB評価に下がっている項目もあるのでしょうか。

森岡教育次長

A評価からB評価に下がっているものはありません。

二項目において一次評価でB評価にしていた評価をA評価に上げていただきました。40ページをご覧ください。5の「心豊かでたくましい青少年の健全育成（1）青少年活動の支援と青少年の健全育成」について、事務局としては評価としてはB評価というように評価をしていますA評価にいただいています。

それからその下の「（2）家庭教育力向上を目指す取組の充実」について、A評価に上げていただいています。

その他は、一次評価と同様の評価をしていただいています。

甲 津 教 育 長

それでは、日程第2 議第9号 令和7年度竜王町教育委員会の権限に属する事務の管理および執行状況の点検および評価について 異議はございませんでしょうか。

教 育 委 員

（異議なし）

甲 津 教 育 長

異議なしということで、可決とさせていただきます。

つづきまして、日程第3 その他 1）令和7年第3回（9月）議会定例会 教育委員会補正予算について事務局から説明をお願いします。

森岡教育次長

（説明）

甲 津 教 育 長

ただいま、事務局からの説明が終わりましたので、委員の皆さんから何かご質問はございませんでしょうか。

櫻 井 委 員

フリースクールの補助金の関係で、ご家庭の状況に応じて、補助金額が異なりますが、もう一度その詳細を教えてください。

森岡教育次長

補助金は、上限10,000円ですが、生活保護世帯の場合は、10分の10で就学援助を受けておられる世帯は、4分の3、それ以外の世帯は、2分の1となります。

櫻井委員
甲津教育長

利用料で、利用を諦められるご家庭もあると思いますのでありがたいと思います。
つづきまして、2) 乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）について事務局から説明をお願いします。

奥課長補佐
甲津教育長

(説明)

ただいま、説明がありました。

一時預かり事業（すくすく）の棲み分けについて議論はしていますが、こども誰でも通園制度は、子どもの育ちの支援であるし、一時預かり事業は、子育て支援という位置づけということでございます。

櫻井委員
奥課長補佐
櫻井委員

この制度は、全国すべての自治体で実施する必要がある制度ですか。

実施の主体は、市町村とされており実施しなければなりません。

こども園では、月1回こども園であそぼうという0歳児から2歳児向けの事業がありますが、こちらの事業は、保護者と一緒に過ごされるため子どもにとっては、ハードルが低い。

しかし、こども園という通園している園児が既について、初めての知らない場所に子どもだけで預けられるということは、子どもにとってハードルが高いのではないかと思います。フォローが必要だと思います。

また、保護者と保育士との関係性や在園児との関係性もあるし分からない部分が沢山あると思います。

職員は、増えるのでしょうか。

奥課長補佐

職員体制は、今後検討していく必要がありますが、こども誰でも通園制度には、専任の保育士を1名配置しなければならないため、考慮しつつ配置を考える予定です。

令和6年度から試行的事業として取り組まれている市の事例を確認すると、始めは泣いていたこどもも回数を重ねるごとに慣れてくるという状況であり、初めての通園時のフォローは、必要かと思います。

家で見ていると十分な子育てができていいのか不安な保護者もおられると思いますので、子どもの成長が促すことのできるこういった機会を設けるということは、必要なことであると思いますので、本町としての受け皿をしっかりと整備していきたいと思います。

櫻井委員

受け皿があって、保護者が楽になったということもありますが、家庭力というものも同時につけていかないといけないと思います。子育てに気持ちの余裕ができたのであれば、もう少し頑張ってみようかというところを保育士との関わりで子育ての力を上げられるような仕組みになればもっと良いと思います。

谷委員

話を聞いていると縦割り行政であると感じてしまいます。

他のであれば、親子で一緒に遊べるということですが、こども誰でも通園制度においては、保護者への支援をどうするのかということが疑問に感じます。

他の自治体の事例では、子育て以外の時間が取れないという声に応じて、子どもを預けている間のお母さんに対するサービスがあります。

国の制度としてしなければいけないので、やらないといけないということは、理解

しますが、利用者の意見を考慮された取組となるように考える必要があると思います。

奥 課 長 補 佐

制度の立ち上げ期であり、不十分な点もあると思います。先ほどもあったように一時預かり事業とこども誰でも通園制度を一緒にしてはどうかということもありますが、目的が異なります。

こども園で実施するということは、一時預かりにはない、少し成長した3歳以上のお兄さんお姉さんがいる環境で、通園することで子どもの育ちを促すということに期待しています。

ただ預かるだけではなく、どのように子どもの育ちを促していくのか、今後、話を詰めていきたいと思っています。竜王こども園と相談していきます。

櫻 井 委 員

11時から1時間だけ使うというときに園ではスケジュールがあるので、在園児との交流は、難しいのではないかと思います。

沖 課 長

全国でも令和6年度から先行して事業を実施されているところがありますので課題が出てきていると思います。情報収集もしつつ改善につなげていきたいと思っています。

川 部 委 員

子どもの育ちを促すということを、親から離して考えてよいのかと思います。

家庭が落ち着くと子どもも安定して発達していくのではないかと思います。

親がリフレッシュするために子どもを預かるということは理解できますし大切なことであると思いますが、親から離して子どもを預かって育ちを促すということで目的を達成できるのかと思います。

特性のある子どもで、家庭だけでは困難で、親だけで育てていくよりも専門家の支援を受けて、特性に合わせた発達を促す取り組みをするということであれば分かりますが、制度に疑問を感じます。

配置基準についても、この人数では、子どもをととても見られないと思います。1歳児に対して1人が6人を見られないと思います。

親にとって良い制度になればと思います。このままの制度として強行するというのは、少し乱暴であると思います。

通園制度ということであれば、毎月決められた日に行くというものでしょうか。

奥 課 長 補 佐

月10時間まで1時間単位で使ってもらえます。一日3人という定員を設けておりますので、空き状況をスマホで確認いただいて、利用いただくというものでございます。柔軟に利用したいと思う日に利用するという制度です。

川 部 委 員

アンケートで利用したいと回答されている方もいざ、預けるとなると、預けたくないといった人が心配しておられる方が考えておられるようなことを思われるのではないかと思います。

奥 課 長 補 佐

利用したいという答えをされている方が6割程度おられますが、米原市での利用実績を見ると年間10名であることから、竜王町においても実際は、少数になるのではないかと考えております。

不安な部分もありますが、保育士に育児で不安に思われていることを話していただいてそれに対して専門家としてアドバイスすることで、園にいる間の育ちだけではなく、家庭での保護者を通じた子どもの育ちを応援することにもなると考えています。

そういった広い視点での子どもの育ちを応援するための内容を考えていく必要があると思っています。

櫻井委員

お話を聞いているとやはり一時預かり事業とどう違うのかということを思います。すくすくは、ある程度、関係性のある中で預けることになりますが、新たな制度には、不安があります。

こども広場もあり、整理が必要ではないかと思います。

期待したいと思うのは、いろんな子育ての支援がありますが、すべて保護者支援であったと思います。保護者の保育力を上げていただくということに繋がる制度になればと思います。

甲津教育長

一時預かり事業との目的の違いを説明することはできますが、実際には、どのように違うのかということが難しいです。

都市部で子どもにいろんなところで学んでほしいという方や経験を積んでほしいというときにこういった制度を利用してもらえるのかもしれませんが、竜王町にそういったニーズがあるのかというと、竜王町では、既にこども園であそぼうやすくすくもありますし、保護者の支援として様々な機会があります。しかし、お子さんを主体とした仕組ということが今回の制度であります。

竜王町として立ち上げをしていかないといけないということであるので、準備していく必要があります。

川部委員

兄弟が登園するときに下のお子さんが一緒にこられて、帰りたくないといったときに、同じように預かってもらえると嬉しいという保護者の声もあるかもしれません。

甲津教育長

9月に議会の委員会にも説明していきたいと思っています。いただいた意見も参考に考えさせていただきたいと思います。

川部委員

3歳未満まで使えるということは、3歳になれば使えないのか。

奥課長補佐

3歳になれば制度の対象外となります。

甲津教育長

ここを大切にしたいので制度を整備するといったことを十分に説明できるようにしなければならぬと思います。本日は、一旦ここまでとさせていただきます。

次に連絡事項について、事務局から説明をお願いします。

奥課長補佐

(説明)

山生涯学習課長

(説明) みんなが輝く国スポ・障スポ応援フェス

甲津教育長

いろいろご意見をいただきましたが予定しておりました内容はすべて終了いたしましたので、進行を事務局にお返しします。

沖教育総務課長

それでは会議の閉会にあたりまして谷教育長職務代理者からご挨拶いただきたいと思います。よろしくお願いします。

谷委員

今日は、色々な意見がありましたが、こども誰でも通園制度については、主体が子どもであっても保護者のことも考えながら制度を作っていただきたいといったご意見であったと思います。

評価委員さんからは、自ら学ぶ力をつけて竜王のオリジナルの教育制度をより充実してくださいというコメントがありました。私としては、竜王独自の英語教育やこど

も誰でも通園制度を作った方が、良いのではないかと思います。

ある程度の指針は出されますが、町民の方が喜んでいただける制度として作っていただいた方がよいと思っています。

町民憲章でも若い力を育て夢と希望にあふれるまちを作りましょうとありますが、若い人たちが住んで良かったと思うのと同時に家族の方がやっぱり竜王が良いと思えるような施策ができれば、一番良いのではないかと思います。そういう気持ちを忘れずをお願いしたいと思います。

沖教育総務課長

ありがとうございました。

以上をもちまして8月定例教育委員会を閉会いたします。ありがとうございました。